

雲の見分け方

上層雲

5～13kmの高さによく現れる。氷の粒でできている。

巻雲



繊維状の構造で、巻毛や絹のような外観をしている。

※鍵のように曲がっていると天候悪化

巻積雲



薄く白い塊で、雲に影がなく非常に小さな丸い塊が規則的に集まっている。ときにはさざなみ状を呈する。

※3日後は雨

巻層雲



ベール状の白っぽい雲で月や太陽を覆うと傘現象が現れる。

※天気は下り坂・明日は雨

中層雲

2～7kmの高さによく現れる。高層雲は普通中層に見られるが、上層まで広がっていることが多い。乱層雲は普通中層に見られるが、上層及び下層に広がっていることが多い。

高積雲



雲に影があり、薄い片、丸い塊、ロール状等からなる。

※西から東に流れると天気が崩れる。

高層雲



繊維状または一様な層をしている。

※乱層雲につながっていると天気が崩れる。

乱層雲



暗灰色の層状の雲で、太陽や月を完全に覆い隠す厚い雲。混沌とした感じ。

※雨を降らせる。

下層雲

地面付近～2km の高さによく現れる。積雲、積乱雲は普通下層にあるが、雲頂は中、上層まで達していることが多い。

積雲



濃密で輪郭がはっきりし、こぶのように盛り上がり、ドーム状または塔状で鉛直上方に発達している。発達すると雄大積雲となる。※しばらくはいい天気

積乱雲



鉛直上方に大きく発達した濃密な雲で、外観は山や巨大な塔のような形。発達した積乱雲の頂は 10km を超えることがある。雲の頂はしばしばかなとこ状に広がる。突風、雷、強い降水を伴うことがあり注意が必要。※雷や夕立

層積雲



片、薄い板状、層状の雲。モザイク状、ロール状、丸みをおびた塊の雲。
※雨になるとは限らない。

層雲



最も低く現れる霧のような雲。ときにちぎれ雲の形で出現することがある。
※夏の朝に見えると良い天気

雲の高さ



気象庁ホームページより